

[様式 1]

令和 2 年度南予地方局予算の実施状況 (R3. 3. 31 現在)

- 1 予算事項名 南予地域ワーケーション誘致推進事業費
- 2 事業期間 令和 2 年度～令和 4 年度
- 3 所 管 南予地方局総務企画部地域政策課
- 4 事業概要

近年、通信技術の躍進や働き方改革、新型コロナウイルス感染拡大防止への対応として企業のテレワーク環境が急速に進展し、都会の労働者が地方で働きながら休暇を楽しむワーケーションへの需要が高まっている機会を好機と捉え、南予地域がこれまでの地域活性化策で培ってきた「豊かな自然」や「いやし」をテーマとした地域資源を活用し、ワーケーション受入態勢を構築するとともに、南予地域での新しい切り口による交流人口の拡大に取り組む。

	令和 2 年度
予算額	1,921 千円

5 事業内容

① 南予地域ワーケーション誘致推進セミナーの開催 (R2. 6. 17)

南予 9 市町の職員 (約 40 名) を対象にテレワークの推進とワーケーション誘致の現状及び事例紹介を行い、ワーケーション事業への理解促進を図りました。



② 南予地域ワーケーション誘致推進協議会の設置 (R2. 9. 28)

管内市町並びにワーケーションに関わる関係者が一丸となってワーケーション誘致推進に取り組む体制を整備するため、協議会を設置しました。

東京事務所及び大阪事務所と連携しながら、本県に所縁のある首都圏等企業 (IT 系) に対する営業活動を行い、当協議会の取組みに賛同いただいた企業を「サポーター企業」に認定しました (12 企業: R3. 3. 31 現在)。

四半期に 1 回程度「南予地域ワーケーション誘致推進協議会通信」を発行し、管内のワーケーション誘致推進の取組状況等について、情報発信を行っています。



募集チラシ



認定盾



協議会通信



③ 南予地域ワーケーションモニターツアーの開催（R2. 12. 6～9）

ANAと連携し、協議会のサポーター企業でもある（株）テックアイエスの社員5名（東京3名、松山2名）に参加していただき、3泊4日の日程で八幡浜市にてコワーキング施設でのワークやミカン収穫体験など、南予地域ならではの体験を組み合わせたワーケーションモニターツアーを開催しました。



コダテルでワーク



ミカン収穫体験



マーマレード作り



港湾ビルでワーク



魚さばき体験

④ 一般社団法人日本テレワーク協会による巡回相談（R2. 12. 14～15、R3. 3. 8）

一般社団法人日本テレワーク協会研究員が、ワーケーション関連施設を訪問し、巡回相談を行いました。



双名津わが家亭



アグリトピア



南予サイン



小田コバンク



A▶

⑤ ワーケーション動画の制作

2月に開催予定としていた宇和島でのモニターツアー延期を受け、同市内のワーケーションPR動画を制作し、アンケートを実施したほか、愛媛県公式Youtubeチャンネルにて公開しました（http://youtu.be/UUKjN_8CBys）。

